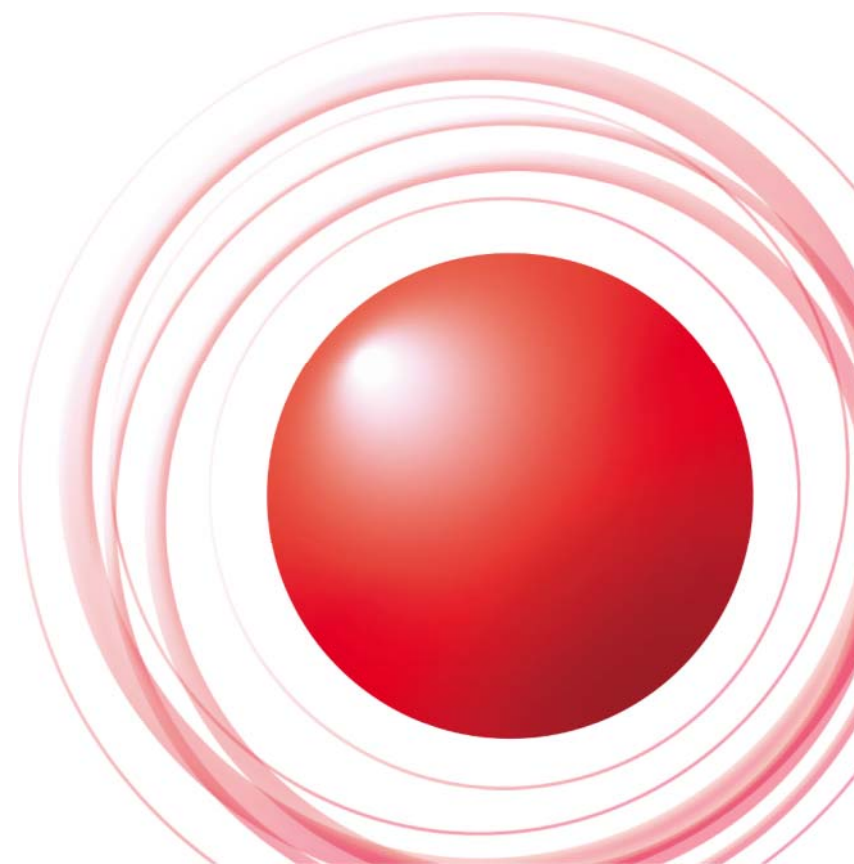


2012年3月期 第1四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード:3774）
2011年8月12日

Ongoing Innovation



アジェンダ

I. 2012年3月期第1四半期 総括

II. 2012年3月期第1四半期 連結業績

III. ご参考資料

I. 2012年3月期第1四半期 総括

《2012年3月期 第1四半期 実績》

・営業収益(売上高)	23,362百万円	(前年同期比 47.7%増)
・売上総利益	4,502百万円	(前年同期比 48.8%増)
・営業利益	915百万円	(前年同期比 244.2%増)
・税引前四半期純利益	865百万円	(前年同期比 210.0%増)
・当社株主に帰属する四半期純利益	512百万円	(前年同期比 107.4%増)

●IIJグローバルによる業績寄与もあり、第1四半期として過去最高の売上・営業利益

- 想定どおりの着地にて順調なスタート
- IIJグローバル1Q業績寄与：売上高：64.6億円、売上原価：51.7億円、販売管理費：8.6億円、営業利益 4.4億円

●ネットワークサービス、SI共に前年同期比増収

- ネットワークサービス売上は前年同期比 66.8%増、SI売上は前年同期比 15.4%増
- アウトソーシングサービスはデータセンター関連、Webセキュリティ等のセキュリティ関連の各サービスが継続伸張
- クラウドサービス「IIJ GIO」は順調に売上積上げ、1Q11末で約600案件導入(4Q10末比 約170件増)
- SIは引き続き案件の中小型化傾向、但し1Q10にあった個別超大口減収要因は無し

●ソリューションラインナップの継続強化及びDCインフラの拡充

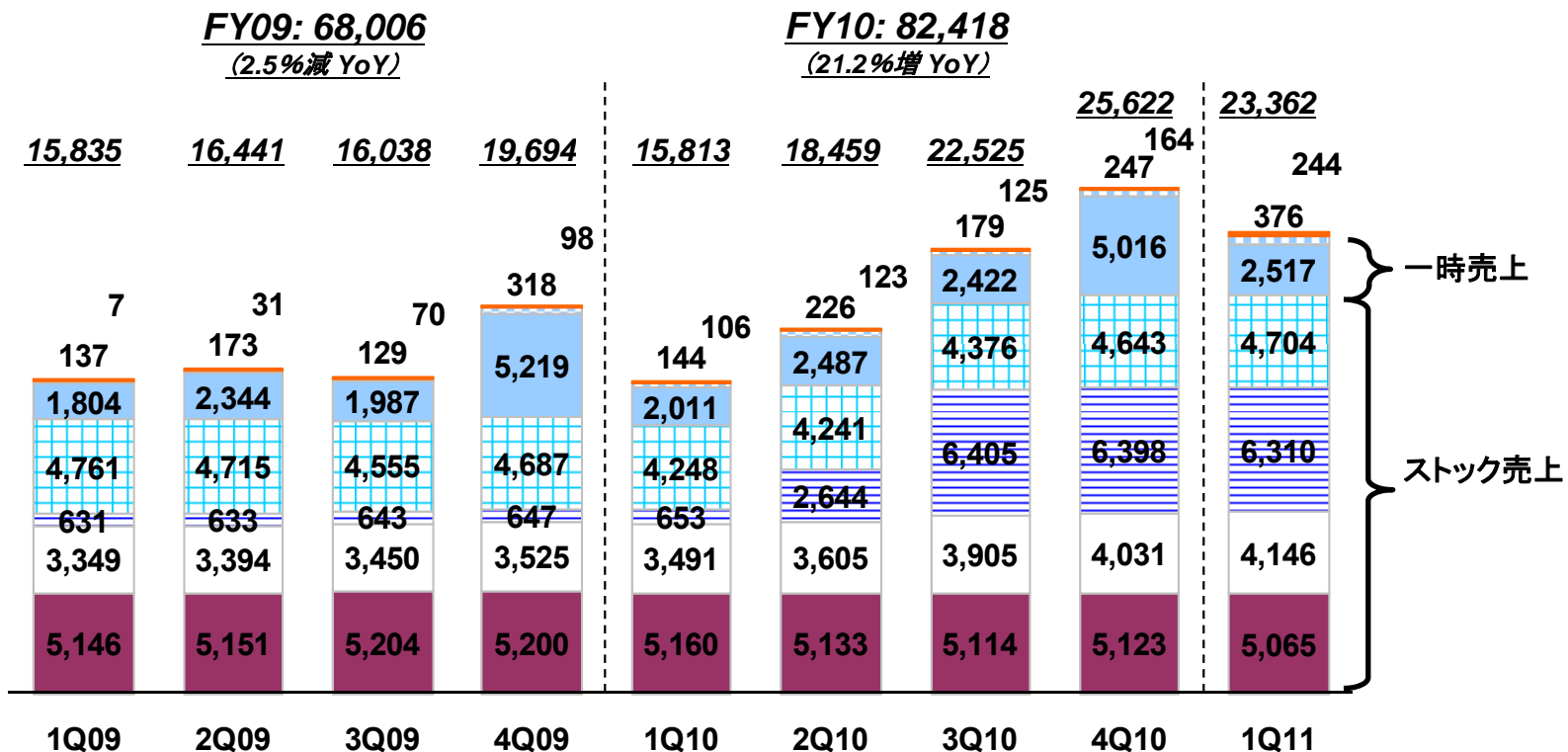
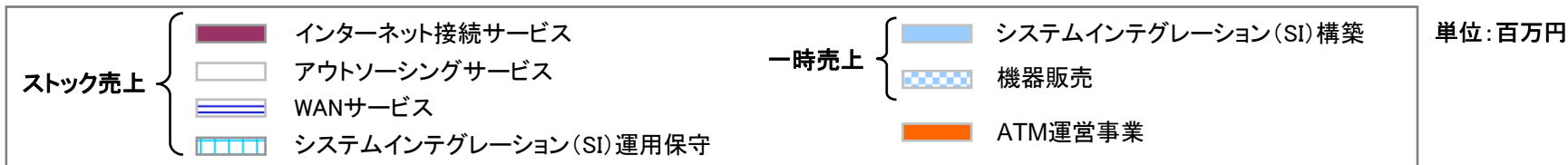
- クラウドサービス「IIJ GIO」のサービスラインナップ拡充及び機能強化
 - 「IIJ GIOストレージサービス FV/S」の提供開始
 - 内部統制の保証基準「SSAE16」Type2報告書受領に向けたクラウドサービスの運用体制刷新
- 商用として国内初の外気冷却コンテナユニットによるデータセンター「松江データセンターパーク」の開設
- ディザスタリカバリ及びBCP等の需要に対応し、関西圏に高津データセンターの開設
- IIJ独自開発のマネージメントサービス基盤「SACM」を用いた電力監視システムの開発
- 関連会社インターネットマルチフィードによるIPv6接続機能をISP等に提供する「transix」サービスの提供開始

Ⅱ-1. 2012年3月期第1四半期 連結実績サマリー

単位: 億円

	売上比 1Q11 (11/4~11/6)	売上比 1Q10 (10/4~10/6)	前年同期比	売上比 FY11 計画 (11/4~12/3)
営業収益 (売上高)	233.6	158.1	47.7%	1,000.0
売上原価	80.7% 188.6	80.9% 127.9	47.5%	—
売上総利益	19.3% 45.0	19.1% 30.3	48.8%	—
販売管理費等	15.4% 35.9	17.5% 27.6	30.0%	—
営業利益	3.9% 9.1	1.7% 2.7	244.2%	6.3% 63.0
税引前 四半期純利益	3.7% 8.7	1.8% 2.8	210.0%	5.6% 56.0
当社株主に 帰属する 四半期純利益	2.2% 5.1	1.6% 2.5	107.4%	3.4% 34.0

Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移



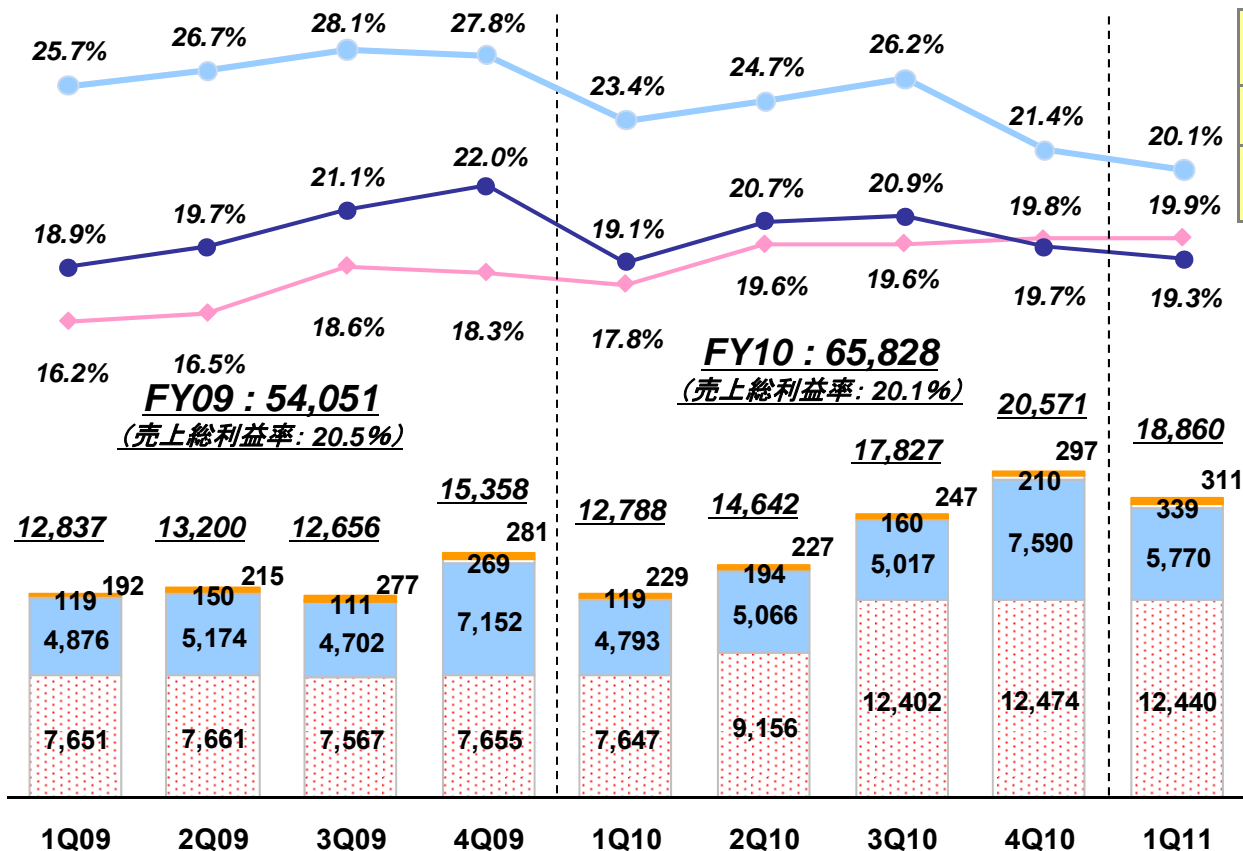
- ◆ストック売上: 20,226百万円 (1Q10比 49.2%増、4Q10比 0.2%増)
- ◆一時売上: 2,893百万円(1Q10比 34.2%増)
- ◆IIJグローバル営業収益: 6,464百万円
(2Q10: 2,246百万円、3Q10: 6,406百万円、4Q10: 6,442百万円)(主にWANサービス、一部SI)
- ◆ATM運営事業: 244百万円(1Q10比 138百万円増、4Q10比 80百万円増)

Ⅱ-3. 売上原価・売上総利益率の推移

売上原価 ■ ネットワークサービス ■ システムインテグレーション(SI) ■ 機器販売 ■ ATM運営事業
売上総利益率 ◆ ネットワークサービス ● システムインテグレーション(SI) ● 全体売上総利益率

単位：百万円

(百万円)



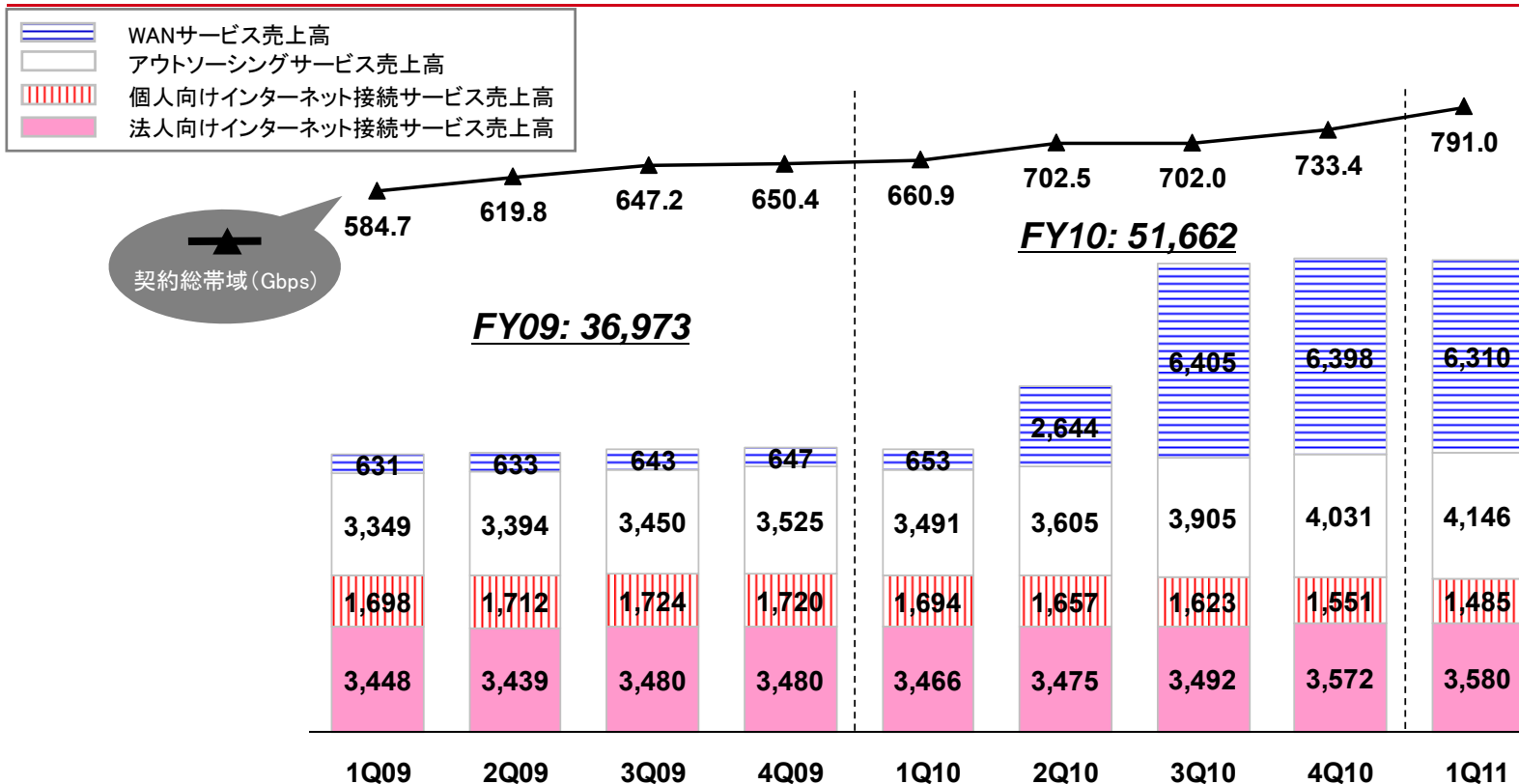
IIJグローバル	2Q10 (1ヵ月)	3Q10	4Q10	1Q11
売上原価	1,761	5,215	5,160	5,173
売上総利益率	21.6%	18.6%	19.9%	20.0%

- ◆売上総利益：4,502百万円（1Q10比 1,476百万円増、4Q10比 549百万円減）
 - ネットワークサービス売上総利益：IIJグローバルに係る売上総利益の追加、接続及びアウトソーシングサービス売上高の継続伸長等により1Q10比 1,424百万円増
 - システムインテグレーション売上総利益：IIJ GIOに係る先行的費用の増加、仕入付帯案件の増加等により、1Q10比 14百万円減
 - ATM運営事業売上総損失：68百万円（1Q10：123百万円、4Q10：133百万円）へ縮小

Ⅱ-4. ネットワークサービス

① 売上の推移

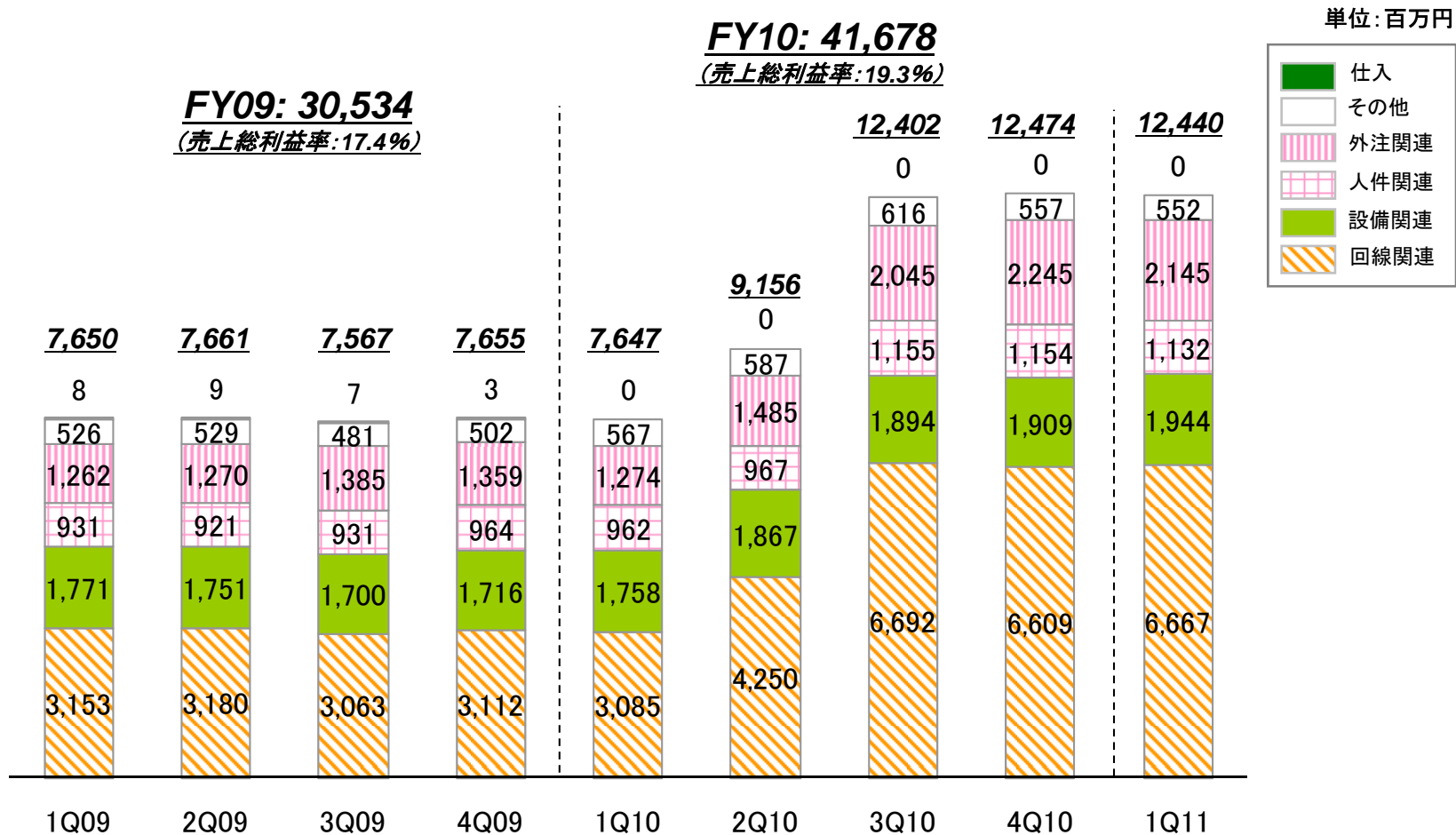
単位: 百万円



- ◆法人向けインターネット接続サービス: 3,580百万円(1Q10比 3.3%増、4Q10比 0.2%増)
 - IPサービス売上高は、期初における価格見直し影響等があったものの新規案件獲得により4Q10比 0.6%増
 - 1Q11末Gbps超契約件数: 131件(1Q10末 123件、4Q10末 126件)
 - IIJモバイルは、iPadソリューション案件に付帯した受注等により契約件数が増加、モバイルサービス累計受注回線数: 5.2万回線超
 - ブロードバンド対応型サービスは、1Q11末にて42,266契約(1Q10末比 13,575契約増、4Q10末比 585契約減)
- ◆個人向けインターネット接続サービス: 1,485百万円(1Q10比 12.4%減、4Q10比 4.2%減)
 - 震災による減免(4月分: 約25百万円)、旧式サービスの継続解約等による減少
- ◆アウトソーシングサービス: 4,146百万円(1Q10比 18.8%増、4Q10比 2.8%増)
 - データセンター関連、Webセキュリティ等のセキュリティ関連、IIJ GIOホスティング等の各サービスにて契約順調積上げ
 - IIJ GIO売上高はシステム運用計上分含め1Q11末にて月額180百万円強と成長中(4Q10末 120百万円)

Ⅱ-4. ネットワークサービス

② 原価の推移

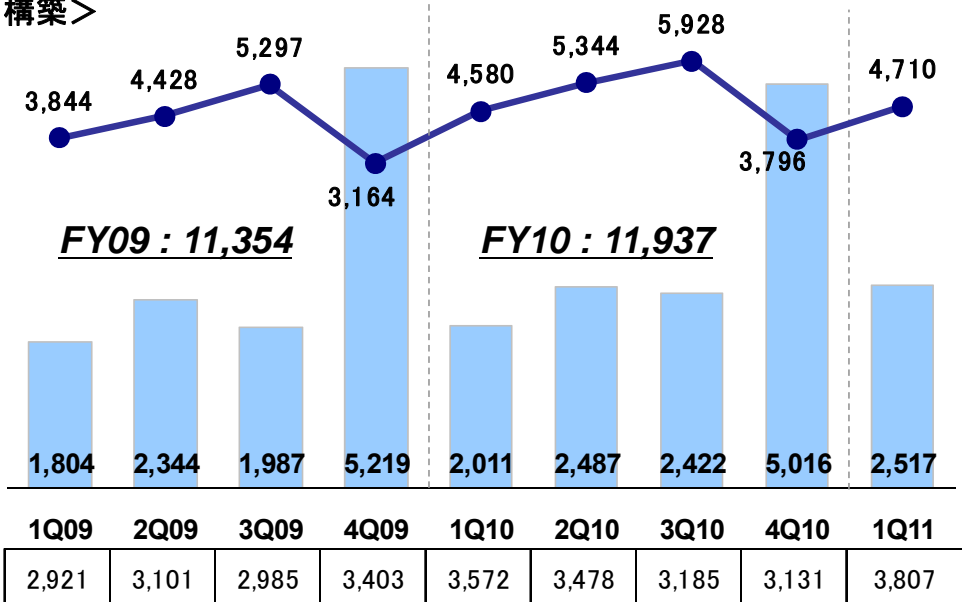


◆ ネットワークサービス原価総額

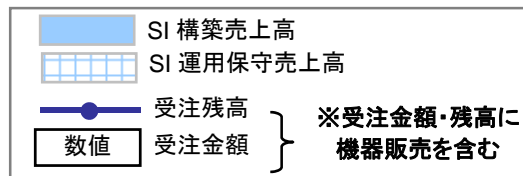
- IIJグローバルに係る売上原価の追加等により1Q10比 62.7%増
- IIJグローバル影響を除き、原価総額は1Q10比減少

Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ① 売上・受注等の推移

<SI 構築>



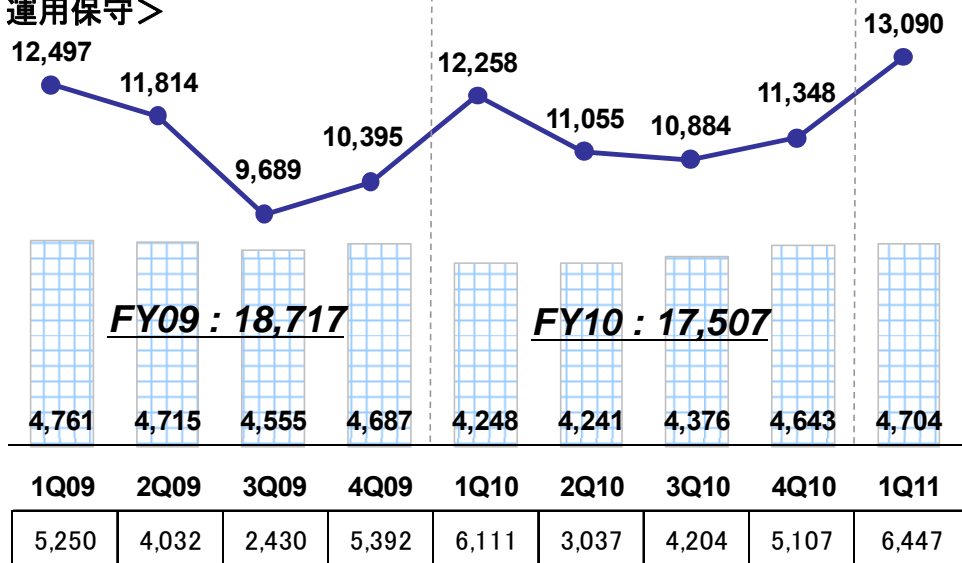
単位: 百万円



SI 構築の状況

- ◆ 売上: 1Q10比 25.1%増
 - ▶ 1Q10にあった個別超大口減収要因は無し
 - ▶ 中小規模案件積上げ、IIJグローバルのSI加算等より、前年同期比増収
- ◆ 受注残高: 1Q10末比 2.8%増、4Q10末比 24.1%増
 - ▶ 受注金額は1Q10比 6.6%増

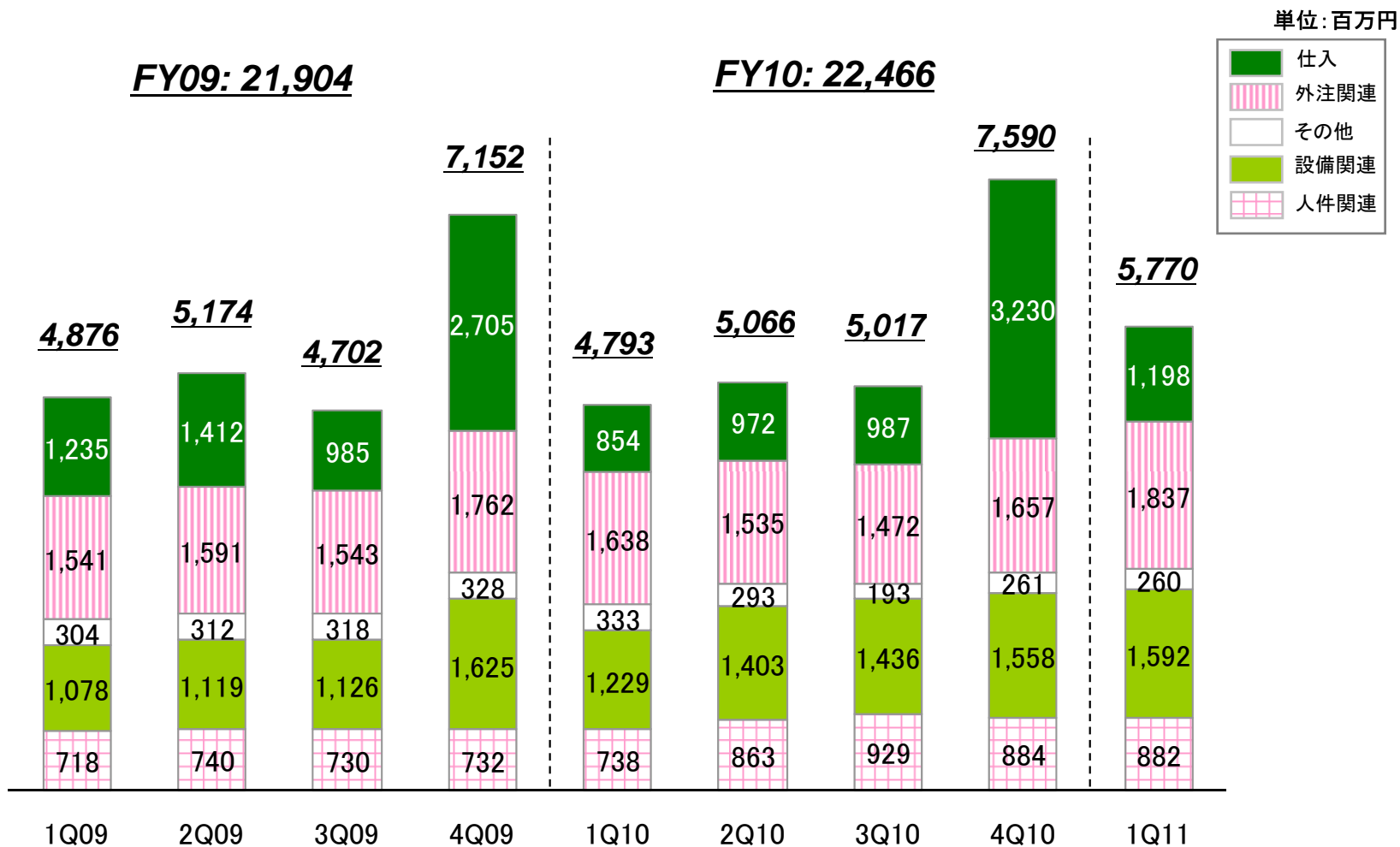
<SI 運用保守>



SI 運用保守の状況

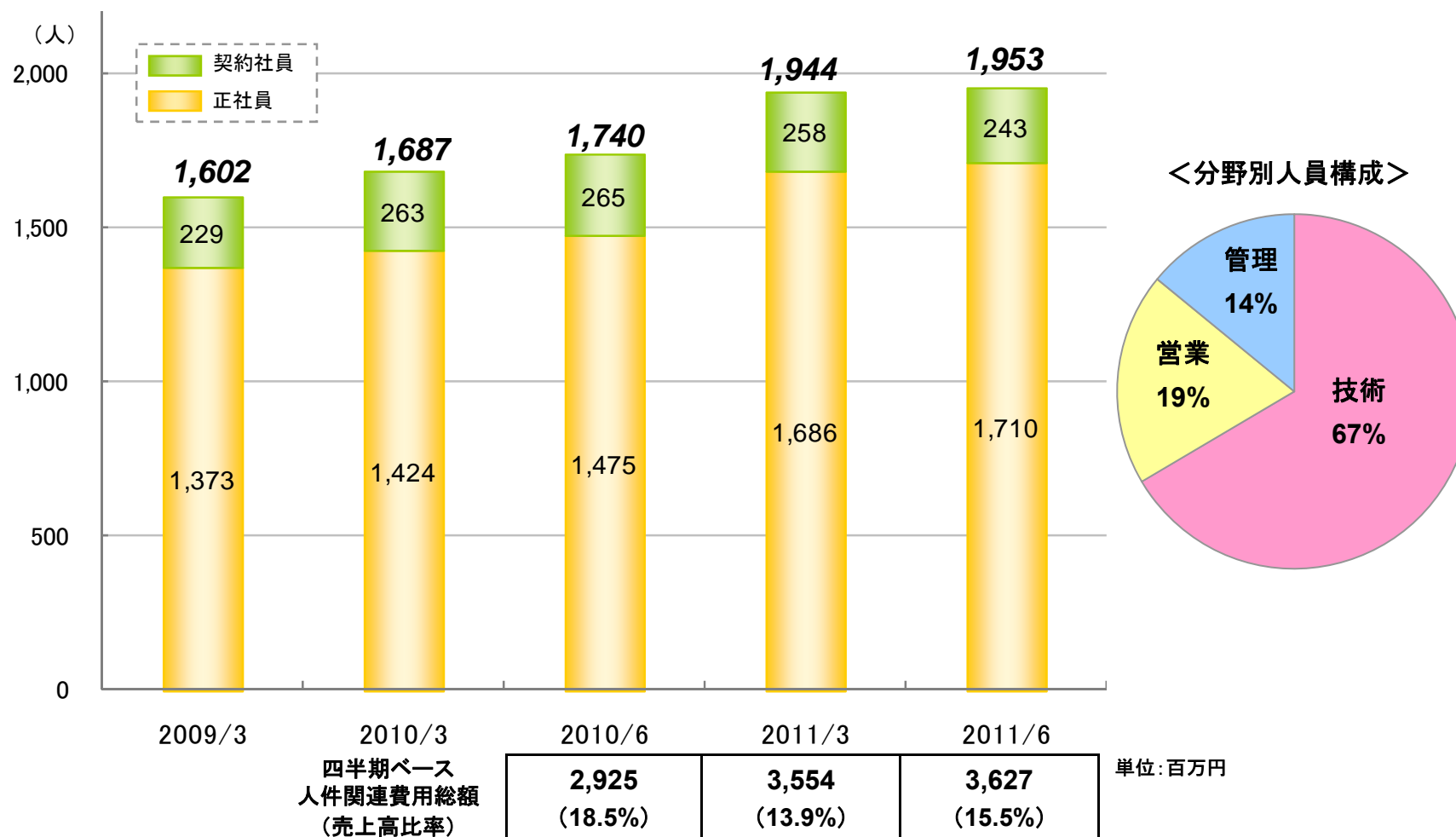
- ◆ 売上: 1Q10比 10.8%増、4Q10比 1.3%増
 - ▶ 1Q10にあった個別超大口減収要因は無く、案件積上げにより増収基調
 - ▶ IIJ GIOコンポーネント売上は想定通り進展
 - ▶ FXシステムは7顧客獲得、順次拡大中
- ◆ 受注残高: 1Q10末比 6.8%増、4Q10末比 15.4%増
 - ▶ 受注金額は1Q10比 5.5%増

Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移



- ◆ SI 原価総額: 1Q10比 20.4%増、4Q10比 24.0%減
 - ▶ 常駐外注人員数は 397名 (1Q10末比 56名増、4Q10末比 22名増)
 - ▶ IIJ GIO推進に伴い外注関連、設備関連費用増加

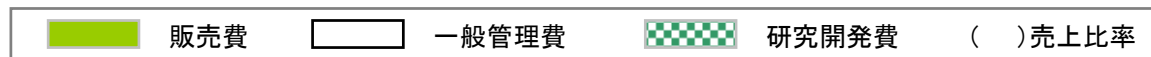
Ⅱ-6. 連結従業員数の推移



- ◆ 連結従業員数: 1,953名 (1Q10末比 213名増、4Q10末比 9名増)
 - 2011年4月新卒新入社員数: 44名 (2010年4月実績: 60名、2009年4月実績: 77名)
- ◆ 年次報酬改定、新入社員増にて4Q10比人件関連費用 73百万円増

Ⅱ-7. 販売管理費・研究開発費(SG&A)の推移

(百万円)



単位:百万円

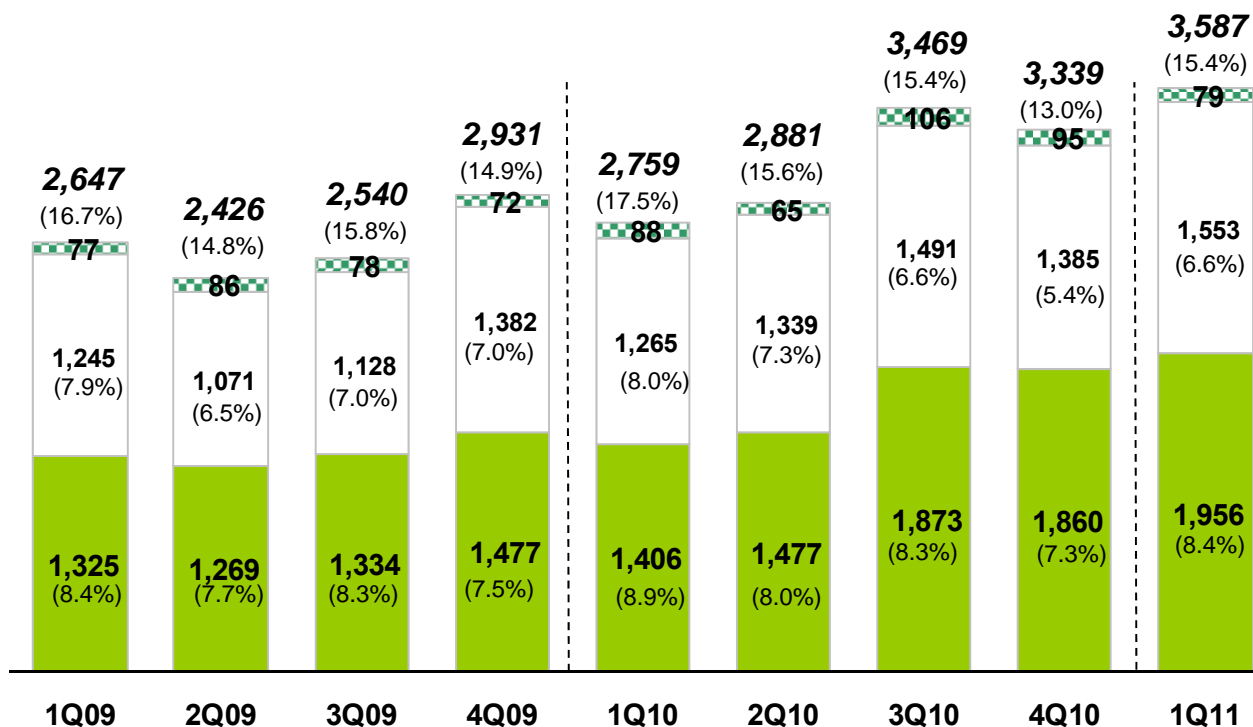
IIJグローバル	2Q10 (1ヵ月)	3Q10	4Q10	1Q11
販売管理費	224	777	767	856
償却対象無形固定資産(顧客関係)償却費	20	109	125	106

FY09 : 10,544

(15.5%)

FY10 : 12,449

(15.1%)



◆SG&A: 1Q10比 30.0%増、4Q10比 7.4%増

▶既存分(除くIIJグローバル)は2,731百万円と1Q10比低減

▶IIJグローバルの本社移転(IIJと同一ビルへ)、部門本社集約による一時的費用(移転、復旧、除却費用等)約70百万円計上。家賃関連の年間総コストは前年比約100百万円低減の見込み

Ⅱ-8. 営業利益・当期純利益の推移

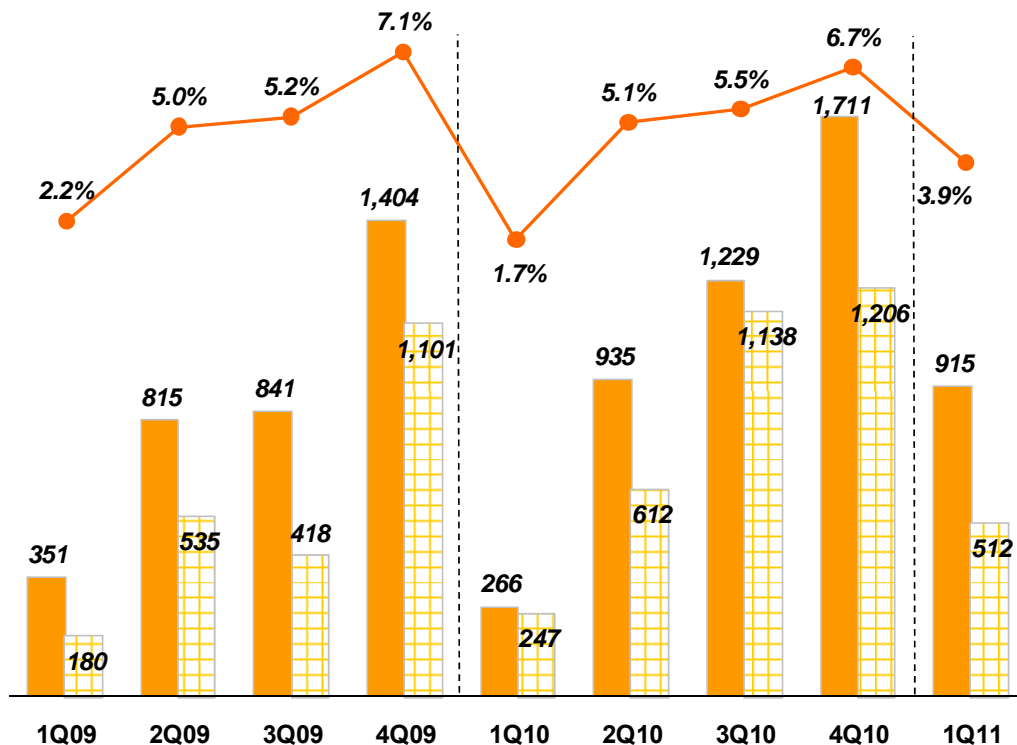
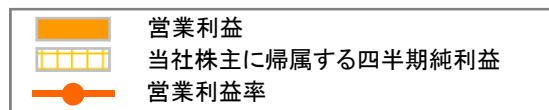
単位:百万円

FY09 営業利益 : 3,412

**FY09 当社株主に帰属
する当期純利益 : 2,234**

FY10 営業利益 : 4,141

**FY10 当社株主に帰属
する当期純利益 : 3,203**



◆営業利益: 915百万円(1Q10: 266百万円)

- IIJグローバル営業利益: 436百万円
(2Q10: 261百万円、3Q10: 414百万円、4Q10: 515百万円)
- ネットワークサービス売上総利益増加
- ATM運営事業の営業損失縮小

◆税引前利益: 865百万円(1Q10: 279百万円)

◆当社株主に帰属する四半期純利益:

512百万円(1Q10: 247百万円)

- 非支配持分に帰属する当期純損失は主にトラストネットワークスに係る損失を計上
- 持分法による投資損益は i-revo、インターネットマルチフィードの利益寄与

◆ATM運営事業の業績推移

- 2011/8/12現在 ATM設置台数:320台
- 5、6月は震災影響より設置ペース鈍化
- 利用件数継続増加、台数・件数増による売上増にて損失規模縮小

ATM運営事業 業績推移 (百万円)

	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11
売上高	106	123	125	164	244
原価	229	227	247	297	311
販売管理費	37	36	42	44	43
費用合計	266	263	289	341	354
営業損失	△161	△140	△165	△177	△111

	1Q10	2Q10	3Q10	4Q10	1Q11
法人税等	120	160	179	496	425
税効果会計による法人税等調整額	88	75	78	365	306
持分法投資損益	34	△3	98	△7	40
非支配持分に帰属する四半期純損失	54	48	51	50	31

Ⅱ-9. 連結バランスシート(サマリー)の状況

単位:百万円

	2011年3月末	2011年6月末	前期末比
現金及び現金同等物	13,314	11,435	△ 1,879
売掛金	16,431	14,063	△ 2,368
たな卸資産	601	809	+208
前払費用	1,680	3,288	+1,608
その他投資	2,794	2,894	+100
有形固定資産	16,481	16,732	+252
のれん及び その他無形固定資産	11,843	11,689	△ 154
買掛金及び未払金	13,574	10,020	△ 3,554
銀行借入金(短期)	13,430	13,430	+0
欠損金	△14,023	△13,815	+208
その他包括利益累計額	△85	△82	+3
当社株主に帰属する 資本合計	29,652	29,864	+211
総資産	71,473	69,147	△ 2,326

▶ 賞与支払、SI案件に係る保守費用の
支払等により増加

▶ 非上場株式 1,943百万円
▶ 売却可能有価証券 796百万円
▶ 出資金 155百万円

▶ 非償却無形固定資産 5,980百万円
のれん 5,788百万円
(内、IJグローバル分: 2,288百万円)
商標権 192百万円
▶ 償却対象無形固定資産(顧客関係)
5,690百万円
(内、IJグローバル分: 3,360百万円)

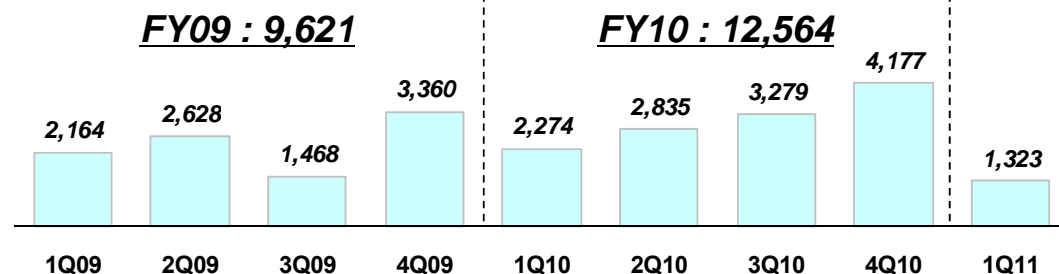
▶ 固定資産(松江データセンター等)の
未払金支払等により減少

▶ 当社株主に帰属する資本比率
(株主資本比率)
・11/6末: 43.2%
・11/3末: 41.5%

II-10. 連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

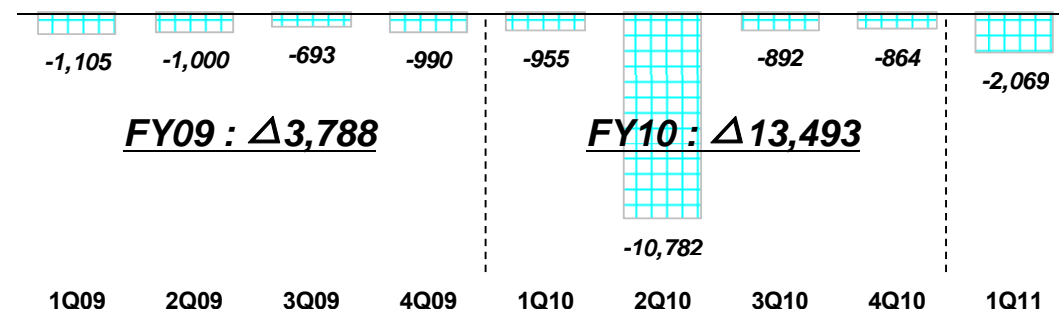
営業キャッシュ・フロー



営業キャッシュ・フロー

- ▶ 営業利益の増加
- ▶ 売掛金の減少 2,346百万円
- ▶ 買掛金及び未払金の減少 △2,551百万円
- ▶ たな卸資産、前払費用、その他流動資産及び
その他固定資産の増加 △1,999百万円
等
- ◆ SI案件に係る保守費用及び機器購入の支払等
により減少

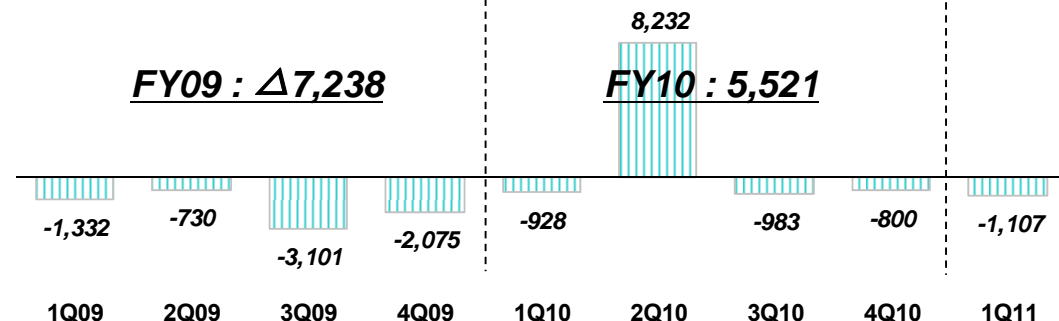
投資キャッシュ・フロー



投資キャッシュ・フロー

- ▶ 有形固定資産の取得 Δ2,078百万円
等

財務キャッシュ・フロー



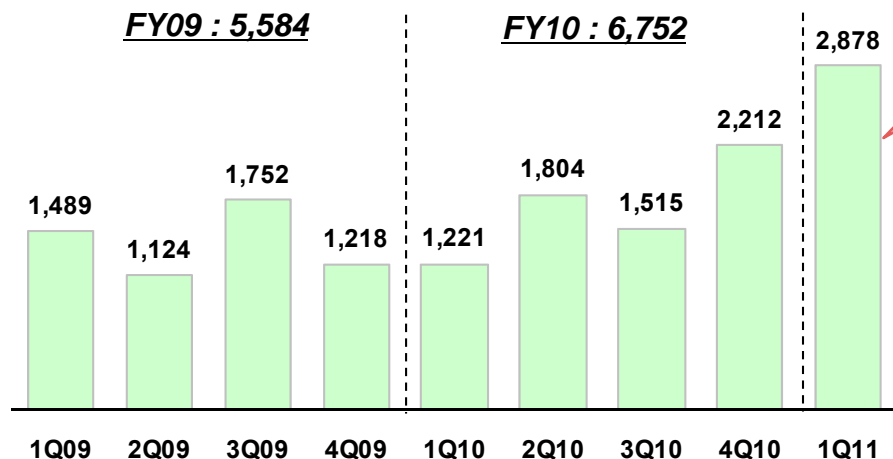
財務キャッシュ・フロー

- ▶ キャピタル・リース元本返済 △803百万円
- ▶ 配当金の支払 △304百万円
等
- ◆ IIJグローバル買収資金90億円の借入(8月末期限)は、
銀行長期・短期借入にリファイナンス予定

Ⅱ-11. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

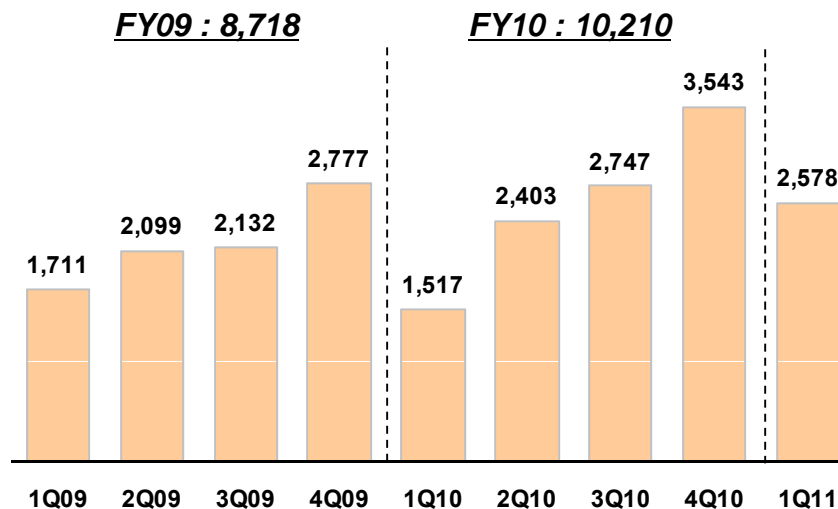
単位：百万円

CAPEX（設備投資額、キャピタルリースを含む）

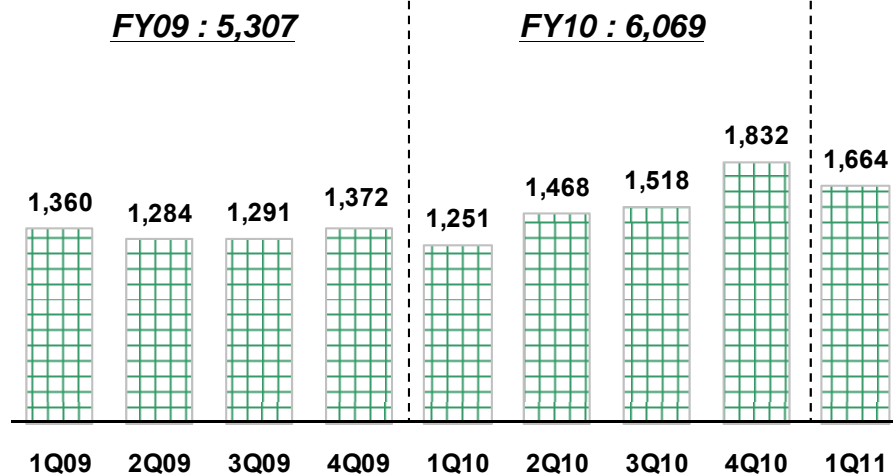


松江DC分: 889百万円
 IIJグローバル分: 233百万円
 ATM運営事業分: 148百万円

Adjusted EBITDA（償却前営業利益）



減価償却等



Ⅲ-1. クラウド事業の進展

IIJ GIO

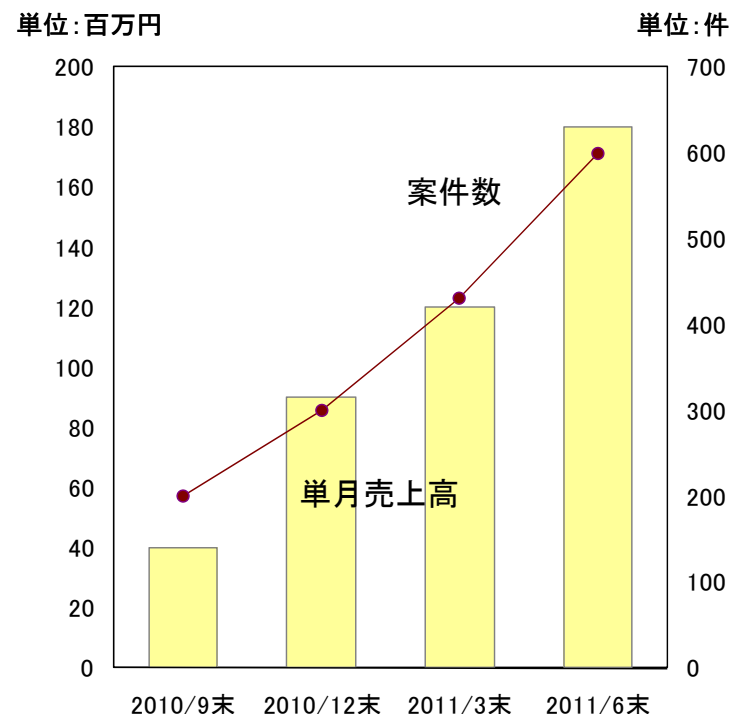
<IIJ GIO事業 業績>

- ◆2011年6月の単月GIO売上高：月額180百万円強
 - ▶コンポーネント(オーダーメイド型:SI運用に計上)及びホスティングパッケージ(レディメイド型:アウトソースサービスに計上)サービスの売上高合計
- ◆1Q11末時点の累計導入件数：約600案件
 - ▶一般法人は業界・業種に偏りなし。Web基盤等の利用に加え、社内情報系・業務システム等の利用増加
 - ▶ソーシャルアプリケーションプロバイダー(SAP)による大規模利用多数

<IIJ GIO事業 今後の見通し>

- ◆FY11売上高計画:30億円超
- ◆引き続き需要見合いで追加設備投資を実施

IIJ GIO単月売上高及び案件数の推移



<サービスラインナップ、設備及びパートナー企業拡充>

- ◆商用として国内初の外気冷却コンテナユニットによるデータセンター「松江データセンターパーク」開設
 - ▶コンテナ単位での設備増強により、従来型DCよりもタイムリーかつ低コストで追加設備投資が可能
- ◆東京にクラウドサービス用データセンター設備を追加調達
- ◆REST API型のクラウドストレージサービス「IIJ GIOストレージサービス FV/S」を提供開始
- ◆内部統制の保証基準「SSAE16」Type2報告書受領に向けたクラウドサービスの運用体制刷新
- ◆アプリケーション事業者やSier等を中心として、IIJ GIOソリューションパートナー継続増加中











Ⅲ-2. ご参考:2012年3月期連結業績見通し(変更無し)

単位:億円

	FY11上期 見通し (11/4~11/9)	FY11 見通し (11/4~12/3)	FY10実績 (10/4~11/3)	前年度比	
営業収益 (売上高)	475.0	1,000.0	824.2	175.8	21.3%
営業利益	20.0	63.0	41.4	21.6	52.1%
税引前 当期純利益	17.0	56.0	38.3	17.7	46.1%
当社株主に帰属 する当期純利益	10.0	34.0	32.0	2.0	6.1%
一株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益	4,934円	16,775円	15,761円	1,014円	6.4%
一株当たり 配当金	1,500円 (中間)	3,000円 (年間)	2,750円 (年間)	+250円	9.1%

Ⅲ-3. グループ会社一覧

(2011年7月末現在)

	社名	出資 比率	主な事業内容
連結 子会社	 (株)ネットケア	100%	ネットワークシステムの運用監視、カスタマーサポート、コールセンター等
	 ネットチャート(株)		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
	 IIJ America Inc.		米国でのインターネットバックボーン網の運用、インターネット接続サービスの提供等
	 (株)ハイホー		個人向けISP事業等
	 (株)IIJイノベーションインスティテュート		インターネット技術開発およびインキュベーション事業等
	 (株)IIJグローバルソリューションズ		WANサービス等国内ネットワークアウトソーシング関連および国際ネットワーク関連サービスの提供
	 (株)トラストネットワークス	77.8%	ATM・ネットワークの運営等
持分法 適用 関連会社	 インターネットマルチフィード(株)	32%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
	 (株)インターネットレポリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
	 (株)トリニティ	45%	ポイント管理システムの提供等 (従来のタイハイコンピュータ(株)より社名変更)

Ⅲ-4. 主要プレスリリース一覧

		日付	項目
FY11	1Q	5/18	IIJ、iPadを一括管理するクラウド型マネージメントサービス「IIJ Smart Mobile Managerサービス」を提供開始
		5/26	迷惑メール対策技術「DKIM」の送信事業者向けリコメンデーションについて
		5/26	剰余金の配当に関するお知らせ
		5/26	取締役退職慰労金制度の廃止及び株式報酬型ストックオプションの導入について
		5/26	IIJ、法人・個人向けサービスにおいて、NTT東西のフレッツIPv6接続に対応
		6/1	hi-ho、「フレッツ光」「WiMAX」「イー・モバイル」対応の各コースでキャンペーン開始
		6/1	IIJ、REST API型のクラウドストレージサービス「IIJ GIOストレージサービス FV/S」を提供開始
		6/1	世界初の超高速100ギガビットイーサネットIX (ISP相互接続点) 共同実証実験に成功
		6/2	IIJ、個人ユーザ向けにIPv6接続機能を強化
		6/6	超高速100ギガビットイーサネットのIX接続を「INTEROP Tokyo 2011 ShowNet」に提供
		6/21	IIJ、自動設定、遠隔管理が可能な新たな電力監視システムを開発し、節電を支援
		6/27	IIJ、NetAppストレージのクラウドバックアップソリューションを最大3ヶ月無償にするプランを期間限定で提供
		6/28	株式報酬型ストックオプションとしての新株予約権の発行について
		6/29	IIJ、SBIホールディングスが提供する「マネールック」プレミアムサービスの認証システムを、クラウドサービス「IIJ GIO」で構築
	6/29	IIJ、カブドットコム証券にASP型FXシステム「IIJ Raptorサービス」を提供	
	6/30	IIJグループ、高津データセンターを開設	
	6/30	IIJ、中小企業向けのオンライン販売メニューでURLフィルタリングサービス「サイトアンパイア」を販売開始	
	2Q	7/1	hi-ho「フレッツ光」「WiMAX」「イー・モバイル」対応の各コースでキャンペーン開始
		7/1	人事異動について
		7/14	IIJ、スマートフォン向けコンテンツの著作権を保護、管理する「DRMサービス」を提供
		7/14	株式報酬型ストックオプション(新株予約権)の発行内容の確定について
		7/19	IIJ、クラウドサービスを活用するソーシャルアプリケーション事業者向けに新たなパッケージプランを提供
		7/19	IIJ、個人向けサービスでNTT東西の新たなIPv6接続方式に対応したサービスを開始
		7/19	IPv6インターネット接続サービス『transix(トランジックス)』の提供について
		7/21	IIJ、内部統制を評価する保証基準「SSAE16」Type2報告書の受領に向けて、クラウドサービスの運用体制を刷新
		7/28	IIJ、リコーのクラウドサービス「リコーUCSサービスプラットフォーム」の配信インフラを構築
8/1		hi-ho「WiMAX」「イー・モバイル」対応の各コースでのキャンペーン延長について	

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.ij.ad.jp/IR> E-Mail: ir@ij.ad.jp



Internet Initiative Japan